



あたごふれあい人権文化センターだより

2025 年10月 1 日発行

発行 : あたごふれあい人権文化センター
住所 : 〒682-0846
鳥取県倉吉市鴨河内 1818-2
電話 : 0858-28-5440 (FAX 兼)
E-Mail : atago@ncn-k.net

あたごふれあい人権文化センターだより「心ゆたかに」
に関するご意見・ご要望をお寄せください。

倉吉市人権教育研究会は、差別の現実に学びながら「部落差別をはじめあらゆる差別の解消」をめざして研究をすすめ、一人ひとりが「人権尊重のまちづくり」への理解を深め、自分にできることを大切にしながら活動しています。研修会が開催されますので、皆様のご参加をお待ちしています。



倉吉市人権教育研究会 会員研修会

共催: 部落解放同盟倉吉市協議会

ドキュメンタリー映画「SAYAMA みえない手錠をはずすまで」 上映会&監督トークショー

狭山事件で無罪を訴え続ける石川さん夫妻のドキュメンタリー映画を上映します

日時: 10月19日(日) 午後1時から3時30分まで

場所: 倉吉交流プラザ 視聴覚ホール

○申込不要、参加費無料で会員でない方でも参加可能です。定員: 先着150人

○自然災害等で研修を中止する場合は、当日までに倉吉市ホームページでお知らせします。

○手話通訳、場内誘導、座席の確保等について、特別な配慮をご希望の方は、10月3日(金)までに下記にご相談ください。



倉吉市人権教育研究会 県外視察研修会

美作騒擾に学ぶ ※参加費無料(ただし、会員以外の方は別に入会金が必要です。)

日時: 11月16日(日) 募集人数: 先着25人

行先: 岡山県 鏡野町・津山市

日程: 8時30分 宮川町観光駐車場からバス出発
9時30分 フィールドワーク(鏡野町・津山市)
11時45分~ 昼食(各自負担)と座学(日上公会堂)
13時15分~15時30分 フィールドワーク(鏡野町・津山市)
16時30分ごろ 宮川町観光駐車場 到着

○申込先 下記まで電話、FAX、電子メールでご連絡ください。

○申込期限 10月31日(金)まで

○自然災害等で視察研修会を中止する場合は、前日までに申込者に連絡します。

※美作騒擾

1873(明治6)年5月26日から30日にかけて岡山県北部で起こった被差別部落襲撃事件。新政府の諸政策(「解放令」・「徴兵令」)に反対した農民一揆が、被差別部落を標的として襲撃した。

※詳しい内容については、市役所または各人権文化センターにあるチラシ等でご確認ください。

【問い合わせ・申込先】 倉吉市人権政策課 倉吉市堺町2丁目253番地1

Tel 0858-22-8130 Fax 0858-22-8230 メール jinkenseisaku@city.kurayoshi.lg.jp

差別落書きは重大な人権侵害です!

※差別発言に遭遇した場合や差別落書きを発見した場合、また悩みごと、生活に困っていることなど、人権政策課または最寄りの人権文化センターへご相談ください。

人権政策課

TEL 0858-22-8130

あたごふれあい人権文化センター

TEL 0858-28-5440



高齢者の人権について考える ～ 10月1日は国際高齢者デー ～



日本は、平均寿命の伸びや、少子化の傾向に伴い、急速に高齢化が進んでいます。鳥取県では全国に先駆けて高齢化が進んでおり、最新の65歳以上の高齢者人口の割合は33.7%です。(総務省による統計ダッシュボード調査より)

高齢者は、私たちの社会を支え、次世代へと知恵と文化を伝える大切な存在です。長年に渡り社会を支え、文化を築いて来られた人たちが、年齢を理由に社会参加を妨げられたりすることなく、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、みんなで考え、実践していきましょう。

●国際高齢者デーとは…

国際連合は毎年10月1日を国際高齢者デーと定めています。しかし、日本では「敬老の日」があるため、「国際高齢者デー」を知る人はあまりいません。

国際高齢者デーは高齢者の知識、経験、そして貢献に感謝し、その権利や尊厳を守ること、また、差別や虐待の廃絶を目的に制定されたものです。高齢化が進む現代社会において、さまざまな課題に直面する高齢者も少なくありません。国際高齢者デーは、そうした課題に目を向け、解決策を考えるための重要な機会でもあります。

●高齢者の多様性を知る

「高齢者」という名称で一括りにされがちですが、実際には一人ひとり異なる人生を歩んできた、個性豊かな人々です。健康状態も、経済状況も、社会との関わり方も様々です。



国際高齢者デーは、こうした高齢者の多様性を認識し、それぞれのニーズに合わせた支援や配慮が重要であることを再認識する機会です。例えば、元気でアクティブな高齢者が活躍できる場を増やす一方で、介護や医療を必要とする高齢者が安心して暮らせる環境を整えることも不可欠です。

●私たちにできること

コミュニケーションをとる

家族や近隣の身近な高齢者と積極的にコミュニケーションをとりましょう。「最近どうですか？」と声をかけるだけでも、孤立を防ぐ第一歩になります。高齢者の話に耳を傾け、彼らの経験や知恵から学ぶ姿勢を持つことで、世代を超えた理解と信頼関係が築けます。

デジタル・デバйд(情報格差)を埋める手助けをする

人によっては、スマートフォンやパソコンは難しいと感じることがあるかもしれません。「どうすればいいかわからない」と困っている高齢者がいたら、簡単な操作方法などを一緒に操作しながら教えることもできます。また、メモを作ったりすることで、彼らがデジタル社会から取り残されないようサポートを行うことができます。

困ったことを相談できる窓口を紹介する(地域包括支援センター)

地域包括支援センターは、高齢者が住み慣れた地域で安心した生活が続けられるように支援を行う総合機関です。

倉吉市では、市内に5か所の地域包括支援センターを設置しています。それぞれのセンターでは、介護・福祉・保健の専門職員(保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャー)が皆様を支えます。

そのほか、家族介護者の方の介護離職防止の相談も受け付けています。お気軽にご相談ください。

上小鴨・関金

かもがわ地域包括支援センター

倉吉市関金町関金宿 1115-2

TEL 0858-45-3888

高齢者が直面する課題は、他人事ではありません。それは、私たちがやがて直面するかもしれない、社会全体で解決すべき共通課題です。私たち一人ひとりの行動が、すべての世代が尊重され、安心して暮らせる社会を築く大きな力となります。

国際高齢者デーをきっかけに、まずは身近な高齢者に、声をかけることから始めてみませんか？